

ITER ダイバータ高熱負荷試験装置用
制御室の計測設備整備のための準備作業
仕様書

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

那珂フュージョン科学技術研究所

炉工学基盤研究開発部 プラズマ対向機器開発グループ

I 一般仕様

1. 件名

ITER ダイバータ高熱負荷試験装置用制御室の計測設備整備のための準備作業

2. 目的

第一工学試験棟 1 階大実験室内の、ITER ダイバータプラズマ対向ユニット（以下「PFU」という。）の高熱負荷試験装置用制御室に、計測設備の整備を計画している。本件はその前段階としての準備作業を実施するものである。

3. 納期

納期は以下のとおりとする。なお、具体的な作業期間については契約後、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（以下「QST」という。）と協議の上、決定すること。

[納期]：令和 9 年 3 月 26 日（金）

4. 作業場所

QST 那珂フュージョン科学技術研究所 第一工学試験棟 1 階 大実験室

5. 業務内容

II 技術仕様のとおり。

6. 提出図書

下記の書類を提出すること。

表 1：提出図書リスト

図書名	提出時期	部数	確認
工程表	作業開始 30 日前	電子データ一式	要
作業者名簿	作業開始 15 日前	電子データ一式	要
作業要領書	作業開始 15 日前	電子データ一式	要
リスクアセスメント実施記録	作業開始 15 日前	電子データ一式	要
完成図書	作業完了後 15 日以内	電子データ一式	要
再委託承諾願（QST 指定様式）	作業開始 15 日前 ※下請負等がある場合に提出のこと。	電子データ一式	要
その他、QST が必要と判断する書類	必要と判断されてから 15 日以内	電子データ一式	要

（提出場所）

QST 那珂フュージョン科学技術研究所

炉工学基盤研究開発部 プラズマ対向機器開発グループ

(確認方法)

表 1 で確認要となっている提出図書を「確認図書」という。確認図書の確認方法は以下のとおりとする。なお、「再委託承諾願」は、QST の確認後、書面にて回答するものとする。

1) 受注者から QST へ確認図書の提出

確認図書（電子ファイル）を受注者から QST へ電子メール等で提出すること。

2) 確認図書を QST が確認

特に指定の無い場合は提出後 10 暦日までに確認を完了し、修正がある場合には修正内容を指示する。修正の指示を受けた受注者は修正を行い再提出すること。修正を指示しないときは確認したものとする。

3) QST から受注者へ確認図書の返送

確認図書を QST において確認後、提出期限日を記載した受領印を押して QST から受注者へ電子メール等で返却する。

7. 検査条件

II 章に示す作業完了後、I 章 6 項に定める提出図書の確認並びに仕様書に定めるところに従って業務が実施されたと QST が認めたときをもって検査合格とする。

8. 支給品及び貸与品

なし

9. 適用法規・規程等

- 1) 那珂フュージョン科学技術研究所 安全衛生管理規則
- 2) 那珂フュージョン科学技術研究所 電気工作物保安規定及び電気工作物保安規則
- 3) 労働安全衛生法
- 4) その他、諸法令及び QST 内諸規定等

10. その他

- 1) 作業前には QST で実施する安全教育を、作業責任者を含め作業者全員で受講し、それを励行すること。安全教育に要する時間は約 10 分である。
- 2) 作業中は QST 担当者が立ち合いを行う。
- 3) 受注者は、QST が量子科学技術の研究・開発を行う機関であり、高い技術力及び高い信頼性を社会的に求められていることを認識するとともに、QST の規程等を順守し、安全性に配慮しつつ業務を遂行しうる能力を有する者を従事させること。
- 4) 受注者は、本件業務を実施することにより取得したデータ、技術情報、成果その他のすべての資料及び情報を QST の施設外において、発表若しくは公開することはできない。ただし、あらかじめ書面により QST の承認を受けた場合はこの限りではない。
- 5) 受注者は、異常事態等が発生した場合、QST の指示に従い行動するものとする。

1 1. 総括責任者

受注者は本契約業務を履行するに当たり、受注者を代理して直接指揮命令する者（総括責任者）及びその代理者を選任し、次の任務に当たらせるものとする。

- 1) 受注者の従事者の労務管理及び作業場での指揮命令
- 2) 本契約業務履行に関する QST との連絡及び調整
- 3) 従事者の規律秩序の保持並びにその他本契約業務の処理に関する事項

1 2. グリーン購入法の推進

- 1) 本契約において、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達に関する法律）に適用する環境物品（事務用品、OA 機器等）が発生する場合は、これを採用するものとする。
- 2) 本仕様に定める提出図書（納入印刷物）については、グリーン購入法の基本方針に定める「紙類」の基準を満たしたものであること。

1 3. 協議

本仕様書に記載されている事項及び本仕様書に記載のない事項について疑義が生じた場合は、QST と協議のうえ、その決定に従うものとする。

II 技術仕様

受注者は次に示す作業を実施すること。作業は事前に作業要領書を作成し、QST の確認を得た上で実施すること。また、作業完了後には、少なくとも以下の内容を含む完成図書を作成し、提出すること。

- 完成図
- 使用物品一覧
- 作業後の写真

第一工学試験棟の制御室位置を図 1、準備作業後の制御室のレイアウトを図 2、制御室の既存設備を図 3 に示す。

(1) 石膏ボードの取り付け

制御室の壁（面積：約 54m²、高さ：約 3m）に以下の下地材及び石膏ボード、壁紙を取り付けること。計測室の既存設備箇所（図 3 参照）は取り付け対象外とする。

- ・下地材 遮音パネル 12.5（相当品可とする。）

[サイズ]：1820mm x 910mm x 12.5mm

[メーカー]：DAIKEN

[型式]：GB0104

[取り付け方法]：ビス

- ・石膏ボード 12.5mm（相当品可とする。）

[サイズ]：910mm x 1820mm x 12.5mm

[メーカー]：吉野石膏

[型式]：GB-R

[取り付け方法]：ビス

- ・石目調壁紙（相当品可とする。）

[メーカー]：サンゲツ

[型式]：SP2546

[取り付け方法]：のり

(2) 制御室床のフリーアクセス化

以下の製品を使用して、制御室床（面積：約 21m²）をフリーアクセスとすること。

制御室内の入口付近にはスロープベース 50 を設置すること。

ステップライン及び吸音パネルはビスで固定すること。

- ・ステップライン 樹脂製置敷（相当品可とする。）

[サイズ]：500mm x 500mm x 50mm

[メーカー]：フクビ

[型式]：TN-50

- ・スロープベース 50（相当品可とする。）

[メーカー]：フクビ

[型式]：OASB50

- ・アコースティック吸音パネル（相当品可とする。）

[サイズ]：600mm x 600mm x 9mm

[メーカー]：ISL

[型式]：BP006-9W45-CAM-10

(3) 天井材の取り付け

天井（面積：約 21m²）に以下の天井材を取り付けること。

天井梁の高さは L 字鋼（SS400、60mm x 60mm x 5mm）を取り付けて調整すること。

熱感知器箇所（図 3 参照）は天井材の取り付け対象外とする。

- ・ダイロートン ワイド直張（相当品可とする。）

[サイズ]：910mm x 455mm x 9mm

[メーカー]：DAIKEN

[型式]：TK2545-4B

(4) LED 照明の取り付け

既設の照明を取り外し、以下の LED ベースライトを制御室内に取り付けること。

取り付け位置は図 2 を参照すること。取り外した既設照明は廃棄すること。

- ・LED ベースライト（相当品可とする。）

[メーカー]：ホタルクス

[型式]：MVDB4104/69N5-NX8

[個数]：8 個

(5) オフィスデスクの調達及び設置

以下のデスクを調達し、図 2 の位置に設置すること。

制御室内の既設デスクは廃棄すること。

- ・オフィスデスク平机（相当品可とする。）

[サイズ]：1200mm x 700mm x 700mm

[メーカー]：オフィスコム

[型式]：OC-SD147H

[台数]：4 台

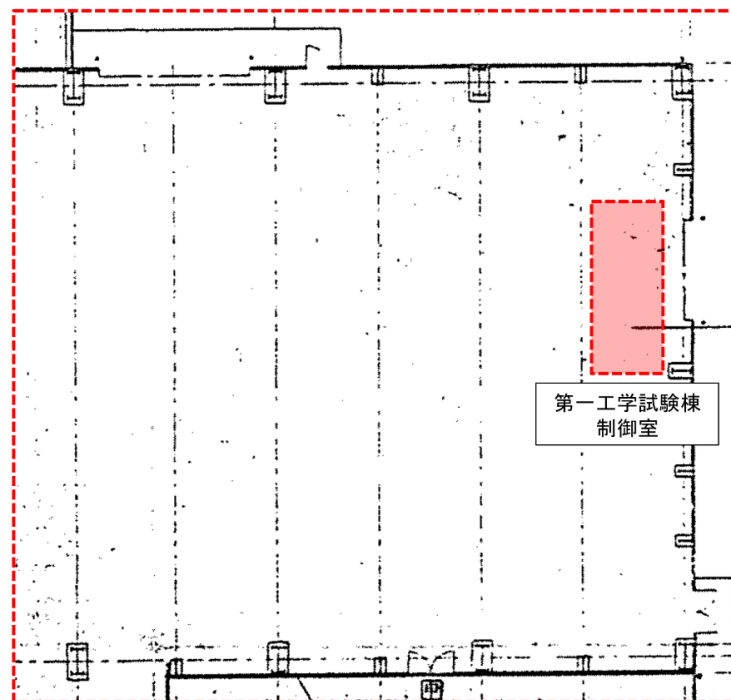
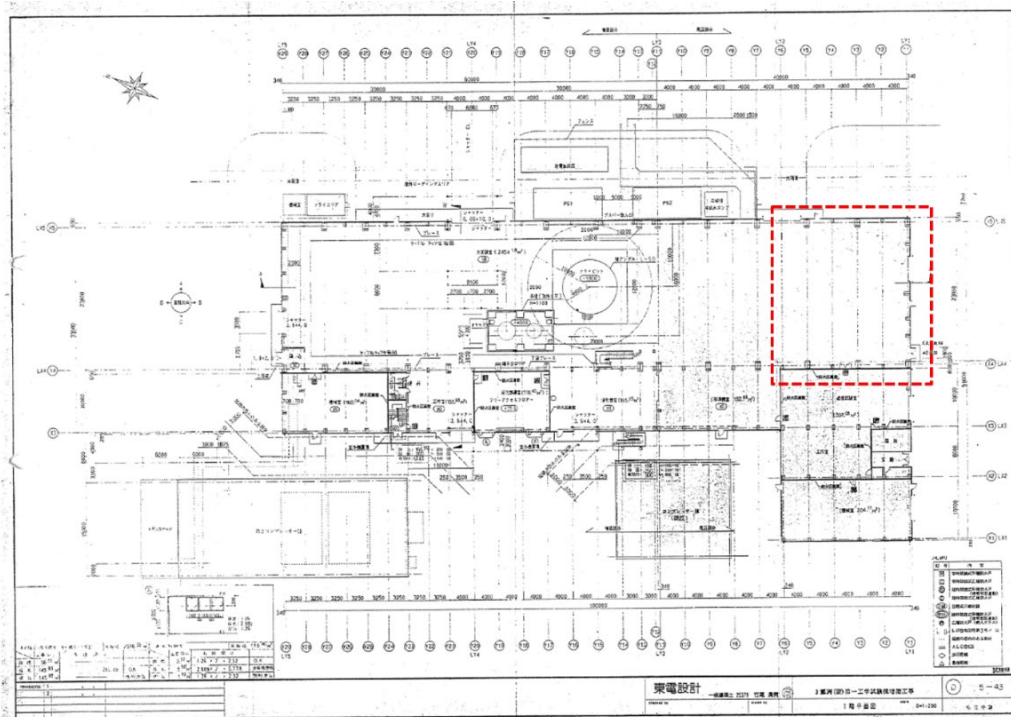


図1：第一工学試験棟図面（上）と制御室位置（下）

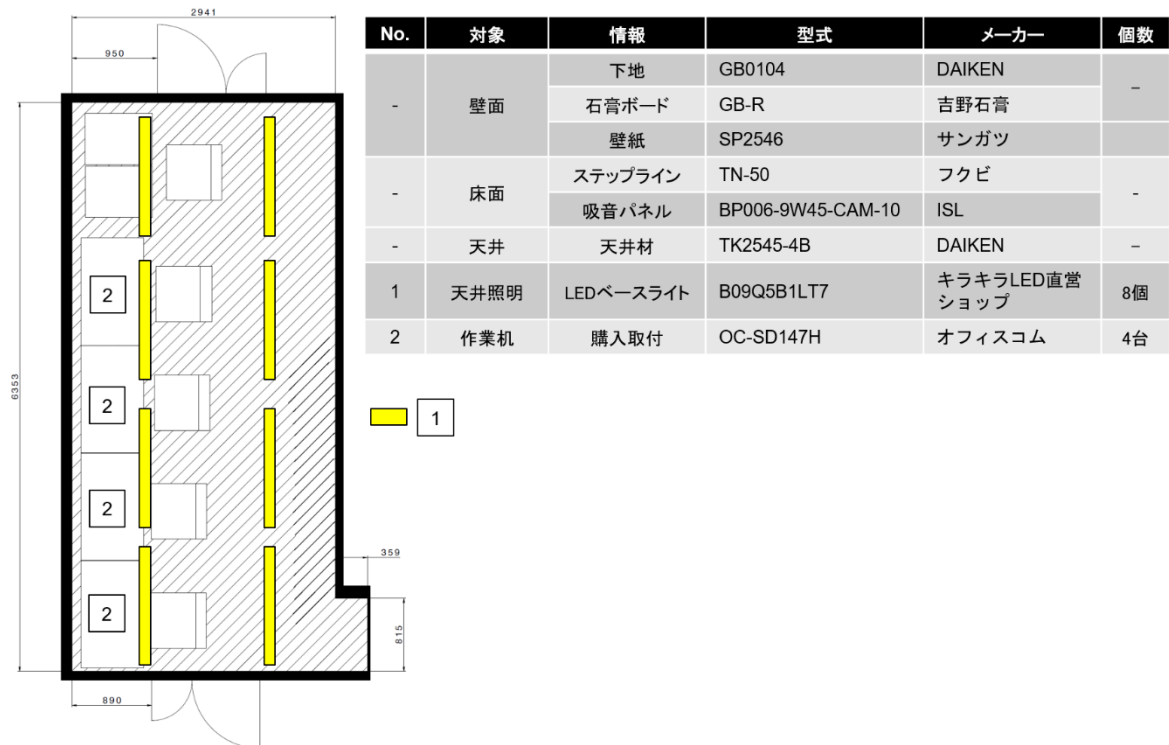


図2：準備作業後の制御室のレイアウト

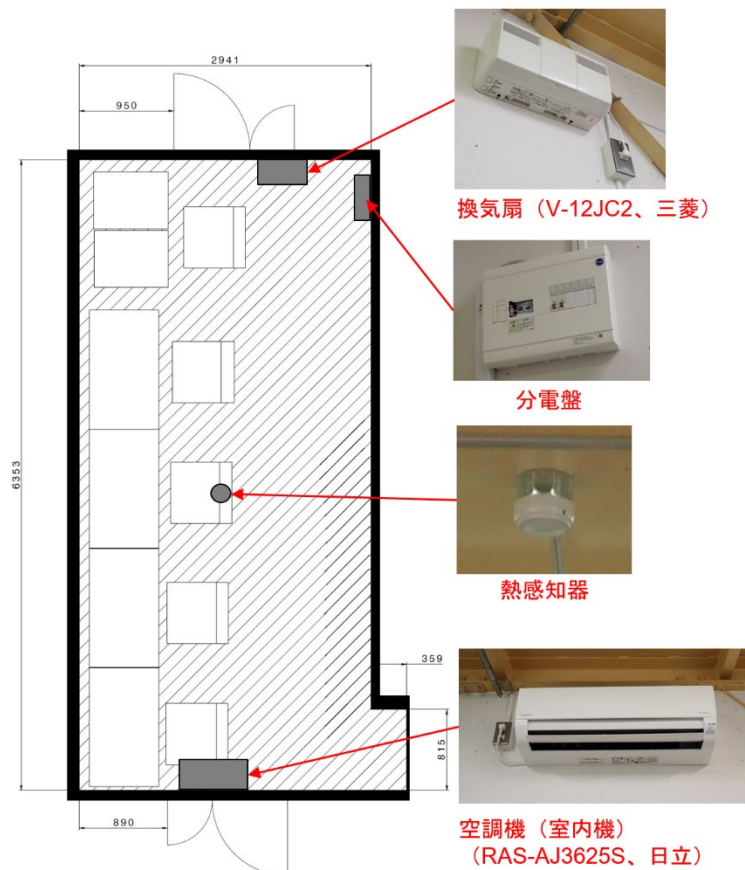


図3：制御室の既存設備

以上